

## 7866 フィールドワーク(台湾のビジネス・デザイン探索とツーリズム)に参加して

学籍番号：18B135

名 前：三好 智大

### 【フィールドワークでの体験】

台湾の体験を通じて感じたことは、3 つあります。一番印象に残っていることは、研究発表についてです。研究発表をするにあたり台湾の方々に理解を得るように、わかりやすく台湾のデータなどの使用が必要がありました。データなどの採取などに苦勞を費やしました。そして台湾の学生からの質問の内容が未知数だったので質疑応答の準備が苦勞になりました。数だけでも 20 の質問に答えられるよう準備をしました。



2 つ目の体験は、台湾の仕事についての関心です。台湾の職業に体の不自由な人が通行人から金銭を要求する仕事がありました。日本にはあまり見かけない光景に驚きました。生活保護という制度がないのでこのような状態が生まれてしまっているかも知れません。そしてその仕事をしている人の中に車いすだけ放置している状態がありました。もう一度その道を通ったら放置していた車椅子に人が座っていました。このことから物乞いをしている人は歩けるのに車いすに座って金銭を要求していたところに驚きを感じました。

3 つ目は、物価の安さに驚きを抱きました（屋台）。日本の価格は安くても 500 円ぐらいです。ですが、台湾の屋台は、日本円で 200 円ぐらいです。そのことから台湾の方々は、自炊をしないのかもしれませんが。そのような物価にもかかわらず平均月収は、日本円で 18 万円と日本と比べてもいい値段になっています。日本と違い国民全体の貯蓄額は多めだと感じました。

【台湾の学生との交流】台湾の学生との交流は、ガイドブックに記載されていないような夜市に案内を受けさせて頂きました。その夜市にある食べ物は、安く美味しい物ばかりでした。現地の方々と交流を計る事によりとても有意義な時間を得ることが出来たと痛感しました。他にもショッピングに同行してもらいお土産などの特産品などの紹介などもさせて頂きました。個人的に一番印象に残っている観光は、高雄にあるアートでした。台湾にあるアートを拝見することにより台湾の文化や日本にあるアートとの違いなどがとても印象的に思いました。

夜市をビジネスと捉えたときに思ったことは、衛生面をしっかりとしたほうがいいと感じました。理由は、日本人の観光客などの人数が増加しているの日本人向けに衛生面を安全にしたほうがよいと感じました。

### 【全体の感想】

台北にあたっては、蔣介石が亡命時に中国から持ち出された芸術品などの博物館などがあり台湾

異質力で、輝く。和光大学





の歴史を見ることができました。台北の街並みは高級感があるように思えます。台湾の首都だけあって人口も多く感じました。夜市など台湾の特産品などいろいろ体験することが出来ました。台北の商店街は、ビジネスマンのために健康マッサージなどが多く存在していました。

台中はデパートなどショッピングなど買い物などの施設が備わっている街並みです。台中は日本の街並みなどがところどころ似ている部分があります。台中のデ

パートには、日本のブランドも多数存在しており日本企業の進展が見受けられました。台中の学生と台中の学食と一緒に食事をし、台湾の情勢などを話し合うことができました。個人的に台中の街並みは、一番好きでした。ですが、観光や歴史的な建造物などは少ない状態でした。台中には、台湾で2校しかない国立大学がありました。台中の学生と台中の観光をしていた時は、タクシー移動ではなく携帯にアプリをインストールし私たちのいる場所を指定したら民間の人が運転した車が迎えにきてくれます。色々な種類などの車などがランダムに迎えに来てくださることにより、台湾で使用されている車の内部の構成な度を観察できとても勉強になりました。

値段は、タクシーとほぼ同じ値段でした。このビジネスは、日本にも似ているものがあります。日本でいうウーバイーツのタクシー版みたいな感じになります。ですが、どのくらいで私たちのいる場所に到着するかなどまだサービス業としては未完成なビジネスのように感じました。

台南・高雄は、道路舗装など未完成な部分などがあり再開発可能な途上のイメージがありました。昼間は繁華街でも人がいなく静かな印象を持ちました。台南・高雄は漁業が盛んらしく港などが多く見受けられました。台南・高雄での東方設計大学の先生方と生徒方たちとフィールドワークが終わり晩ご飯を御ちそうしてもらった時のお店も海鮮料理店でした。このことから台南高雄のおもてなしをするときは特産品があるお店に案内してくれるのだと思いました。台南・高雄の町並みは少し危険な印象を受けました。台湾でパチンコ店もあり夜の町並みが多く見受けられました。台湾の人がバイクで勧誘して来たりしました。台湾の中ではアウトローな町並みだと感じました。台南・高雄は芸術に特化している部分も見受けられます。台南・高雄で訪問した東方設計大学では、世界中の国旗を複数枚重ね合わせモナリザの絵を構成した壁がありました。近くでモナリザの壁を見てもただの国旗が重ねてあるだけに見えますが遠くから見ると立派な絵になっていることは遠近法を有効的に活用できたからだ后感心しました。

#### 【その他】

##### 台湾フィールドワークの感想

台湾のフィールドワークをとして感じたこと。1つ目が台湾の大学に訪問することにあたって大学の設備、台湾の学生の性格、研究発表をとうして台湾の学生の関心を引く部分など和光大学の授業内容のおかげでとても貴重な経験を得られました。また機会があればぜひとも再度参加したいと思うほど貴重な経験でした。

異質力で、輝く。和光大学

